ラウドネスメータプラグインソフトウェア

SP-3800

取扱説明書

Ver.1.02

ラウドネスメータプラグインソフトウェア

SP-3800

取扱説明書

2012.5

Ver.1.02

アストロデザイン株式会社

目次

1章. ASTRO Loudness (SP-3800)について 1

1.1. はじめに 1

2章. 製品概要 3

2.1. ソフトウェア 3

2.1.1. ASTRO Loudness エクスポーター 3

2.1.2. ASTRO Loudness アナライザー 3

2.2. 製品プロテクトキー 4

2.3. 動作環境 4

3章. インストールと削除 5

3.1. ASTRO Loudness(SP-3800)をインストールする 5

3.2. ASTRO Loudness(SP-3800)のインストール状況を確認する 6

3.2.1. ASTRO Loudness エクスポーター 6

3.2.2. ASTRO Loudness アナライザー 6

3.3. ASTRO Loudness(SP-3800)を削除する 7

4章. 使い方 9

4.1. 準備する 9

4.2. ラウドネスログを出力する 10

4.3. 解析結果を表示する 12

4.3.1. 解析結果表示画面 12

4.3.2. Open Fileメニュー 14

4.3.3. Output Fileメニュー 14

4.3.4. Channel Mapメニュー 14

4.3.5. Settingメニュー 15

4.3.6. Viewメニュー 17

5章. 更新履歴 19

1 ASTRO Loudness (SP-3800)について

1.1. はじめに

ASTRO Loudness (SP-3800)は、ラウドネスログ解析を行い、解析結果を分かりやすく表示することにより、番組制作を支援するソフトウェアです。
本書では、ASTRO Loudness(SP-3800)の使い方をご説明します。

2 製品概要

ASTRO Loudness(SP-3800)の内容は、以下で構成されています。

- ASTRO Loudness エクスポーター
- ASTRO Loudness アナライザー
- 製品プロテクトキー

ASTRO Loudness エクスポーターと ASTRO Loudness アナライザーを連携することにより、ラウドネスログの解析と結果の確認を、効率よく行うことができます。
ASTRO Loudness(SP-3800)をお使いになるには、パソコンに製品プロテクトキーを装着してください。

2.1. ソフトウェア

2.1.1. ASTRO Loudness エクスポーター

ASTRO Loudness エクスポーターは、グラスバレー社の映像編集ソフトウェア「EDIUS」用のプラグインソフトウェアです。ASTRO Loudness エクスポーターを使って、EDIUS の編集シーケンスからラウドネスログを出力します。ラウドネスログは CSV 形式です。EDIUS の詳しい使い方については、EDIUS のマニュアルをご参照ください。

2.1.2. ASTRO Loudness アナライザー

ASTRO Loudness アナライザーは、ラウドネスログ解析結果を分かりやすく表示するアプリケーションです。ASTRO Loudness アナライザーは、ASTRO Loudness エクスポーターにより自動的に起動します。単独で起動することもできます。

2.2. 製品プロテクトキー

ASTRO Loudness(SP-3800)をお使いになるには、製品プロテクトキーが必要です。お使いのパソコンの USB ポートに、製品プロテクトキーを挿入してお使いください。

2.3. 動作環境

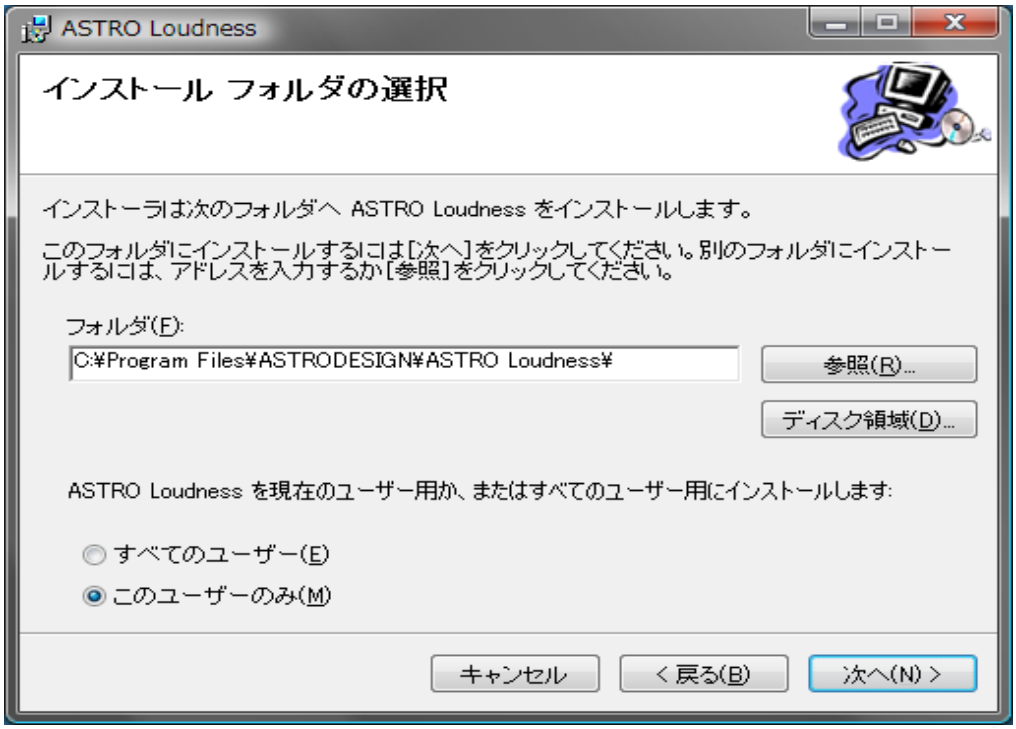
動作環境	動作条件
OS	Microsoft(R) Windows XP, Vista, 7
映像編集ソフトウェア	Grass Valley EDIUS 6 (6.02 以降)
PC スペック	EDIUS の動作条件に準ずる
モニタ解像度	1024×768 ピクセル以上、1280×1024 以上推奨

3 インストールと削除

ASTRO Loudness(SP-3800)のインストールと削除の方法を説明します。

3.1. ASTRO Loudness(SP-3800)をインストールする

製品 CD-ROM をパソコンにセットし、「setup.msi」を起動してください。画面に表示される手順に従ってインストールフォルダなどを指定し、インストールしてください。

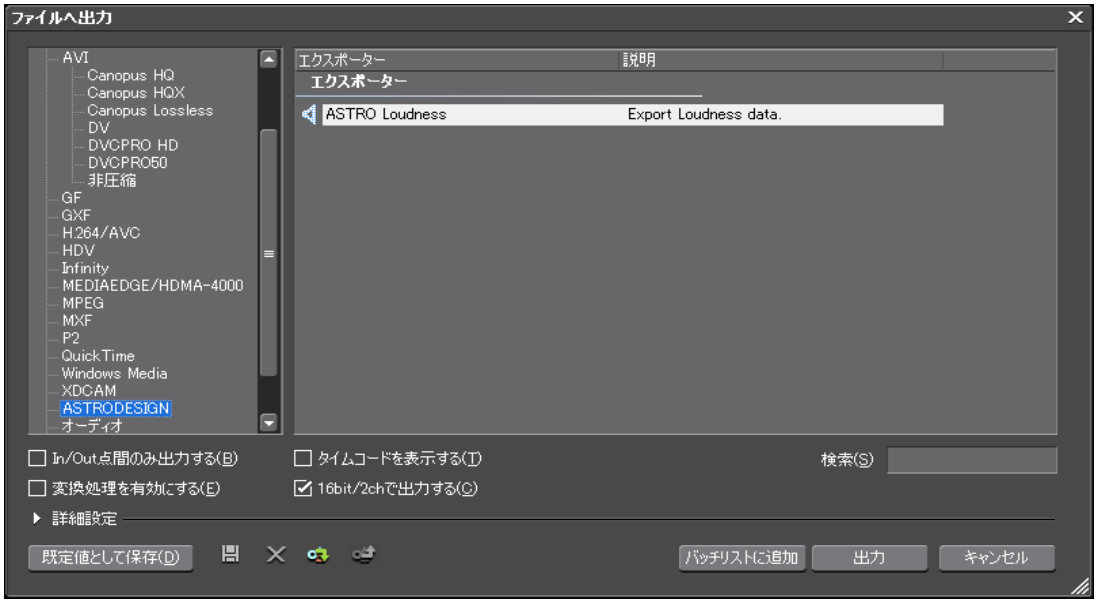


3.2. ASTRO Loudness(SP-3800)のインストール状況を確認する

ASTRO Loudness(SP-3800)ソフトウェアのインストール状況の確認方法を説明します。。

3.2.1. ASTRO Loudness エクスポーター

EDIUS のエクスポーター一覧に ASTRO Loudness エクスポーターが表示されていることを確認してください。

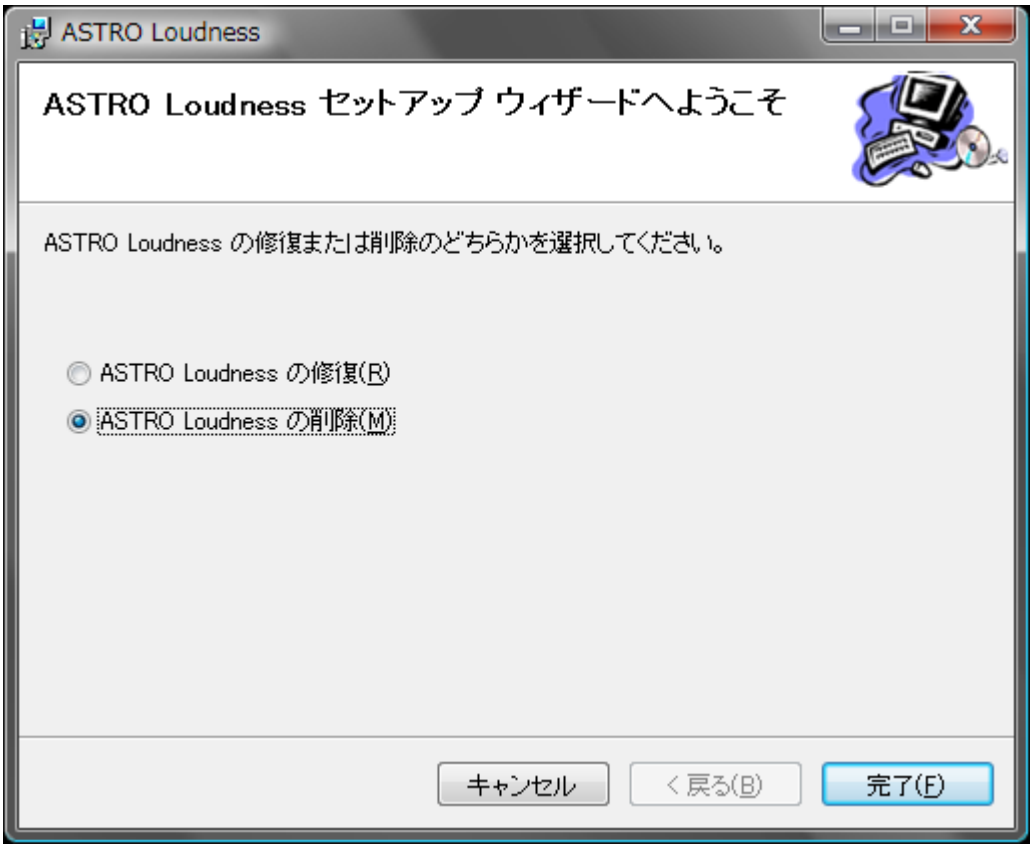


3.2.2. ASTRO Loudness アナライザー

「スタートメニュー」に「ASTRO Loudness」が表示され、ASTRO Loudness アナライザーが起動できることを確認してください。

3.3. ASTRO Loudness(SP-3800)を削除する

製品 CD-ROM をパソコンにセットし、「setup.msi」を起動してください。画面に表示される手順に従って削除してください。



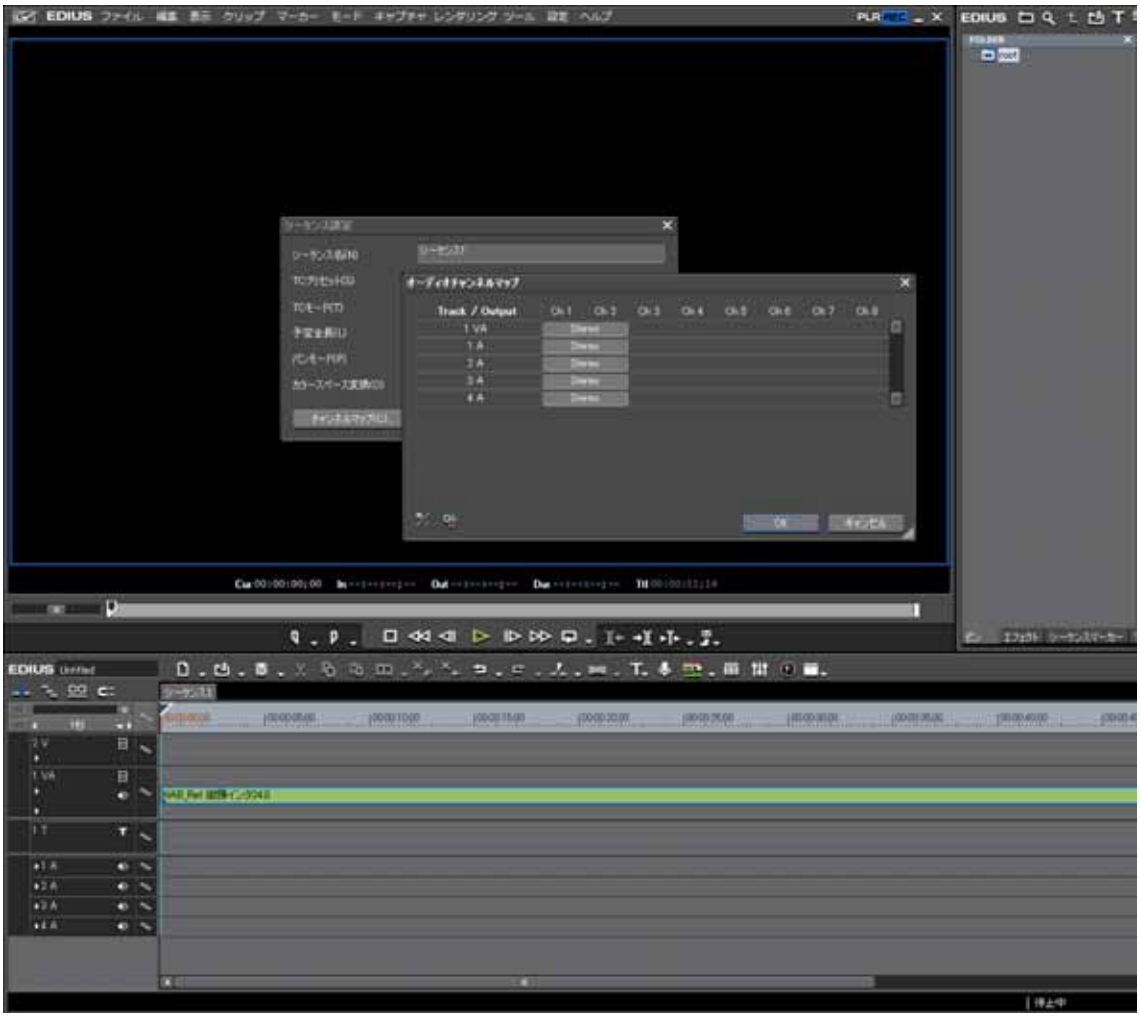
コントロールパネルの「プログラムと機能」から削除することもできます。

4 使い方

ASTRO Loudness(SP-3800)の使い方を説明します。

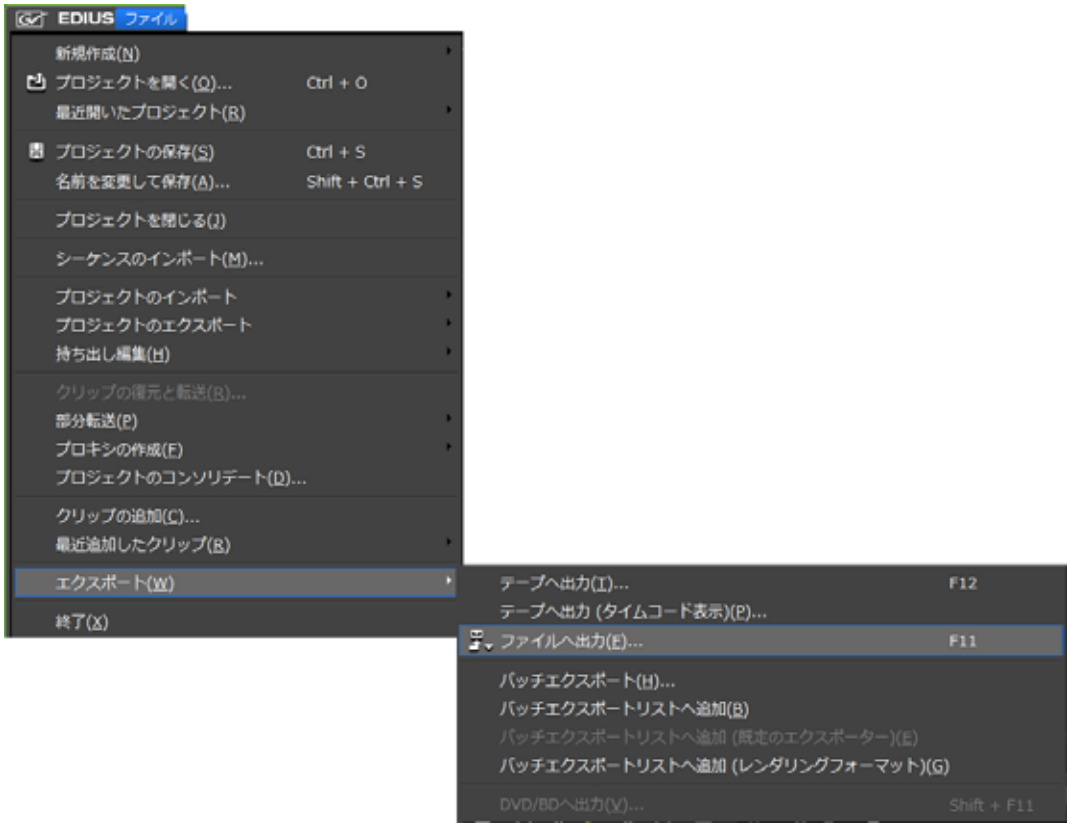
4.1. 準備する

EDIUS の編集シーケンス設定にて、解析対象となる音声データを音声トラックに配置し、音声モードにあったチャンネルマッピングを設定してください。

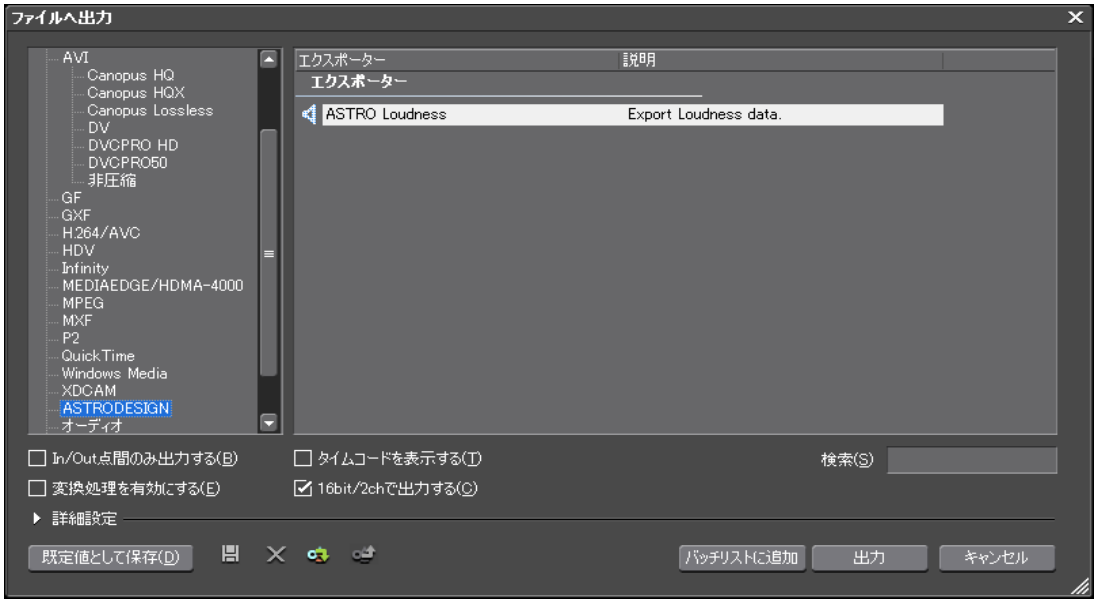


4.2. ラウドネスログを出力する

ASTRO Loudness エクスポーターを使い、編集シーケンスの音声データのラウドネスログを出力します。解析対象範囲を指定する場合は、編集シーケンスにて IN/OUT を設定してください。
EDIUS の「ファイル」メニューから、「エクスポート」ー「ファイルへ出力…」を呼び出します。



「ファイルへ出力」ダイアログから、ASTRO Loudness エクスポーターを選択します。解析対象範囲を指定する場合は、「In/Out 点間のみ出力する」を指定してください。
最初に呼び出されたときに、「16bit/2ch で出力する」が指定されています。解析対象の音声モードと異なる場合には、指定をはずしてください。

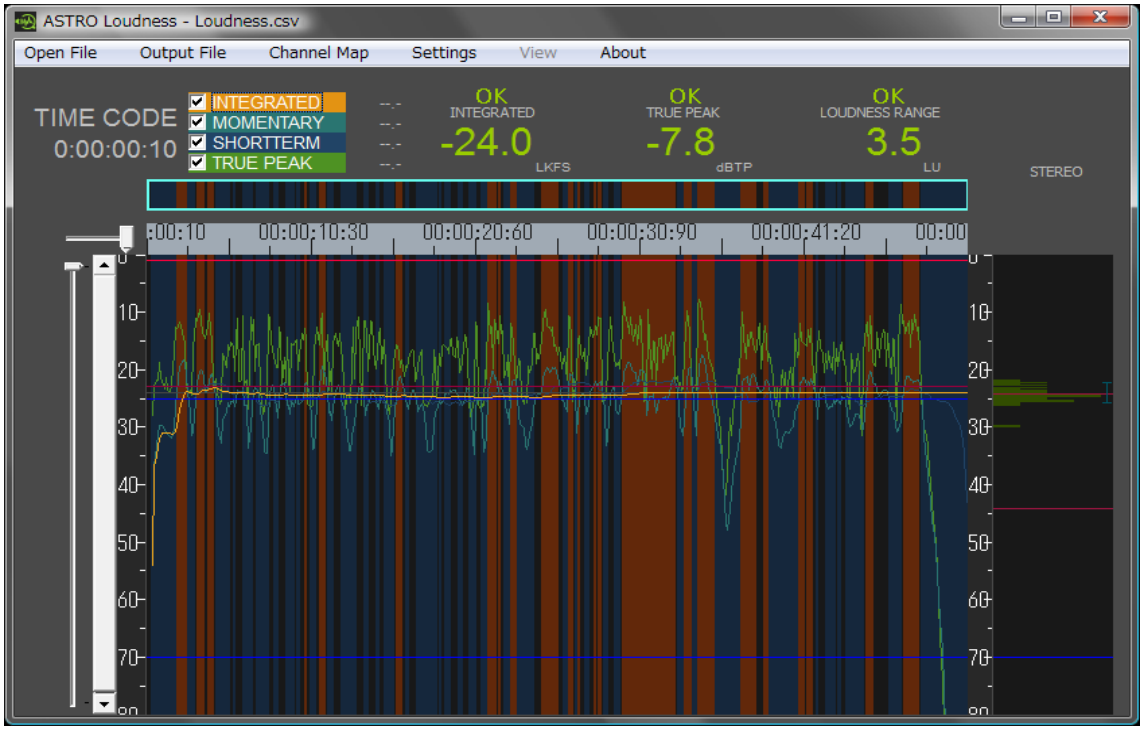


編集シーケンスの音声データに合わせ、ラウドネスログの音声モードとチャンネルマッピングを設定し、ラウドネスログの出力先を指定します。出力先は、EDIUS プロジェクトと同一フォルダが指定されています。

4.3. 解析結果を表示する

ラウドネスログが出力されると、ASTRO Loudness アナライザーが自動的に表示されます。。

4.3.1. 解析結果表示画面



表示項目	表示内容
インテグレーテッド値 (INTEGRATED)	(TARGET LEVEL + ALARM LOW LEVEL)≦(結果)≦(TARGET LEVEL + ALARM HIGH LEVEL)であれば OK 上記以外であれば NG を表示
トゥルーピーク (TRUE PEAK)	(結果)≦(dB ALARM LEVEL)であれば OK、それ以外は NG
ラウドネスレンジ (LOUDNESS RANGE)	(結果)≦(LRA ALARM LEVEL) であれば OK、それ以外は NG
カレントタイム (CURRENT TIME)	ヒストリーグラフ上のカレントタイムを表示 ※目盛りに併記している時間表示は目盛りの最近傍の値を表示します。

タイムコード (TIME CODE)	ヒストリーグラフ上のカレントのタイムコードを表示
ヒストリーグラフ (HISTORY GRAPH)	インテグレーテッド、モーメンタリ、ショートターム、トゥルーピーク(サンプルピーク)のヒストリーグラフ 閾値値表示は下から、ABSOLUTE GATING、ALARM LOW LEVEL、TARGET LEVEL、ALARM HIGH LEVEL、dB ALARM LEVEL
ヒストグラム (HISTOGRAM)	EBU-TECH 3342 に準拠したヒストグラム 絶対ゲートレベル -70LKFS、相対ゲートレベル-20dB、ブロック長 3 秒、オーバーラップレベル 2 秒で計算したショートタームを表示
エラー表示領域	赤：トゥルーピークが(dB ALARM LEVEL)＜(結果)のとき 茶：モーメンタリーもしくはショートタームの警告 モーメンタリーもしくはショートタームの値が、 95%ラウドネスレベルを超えたとき 青：モーメンタリーもしくはショートタームの警告 モーメンタリーもしくはショートタームの値が、 10%ラウドネスレベルを下回ったとき

4.3.2. Open File メニュー

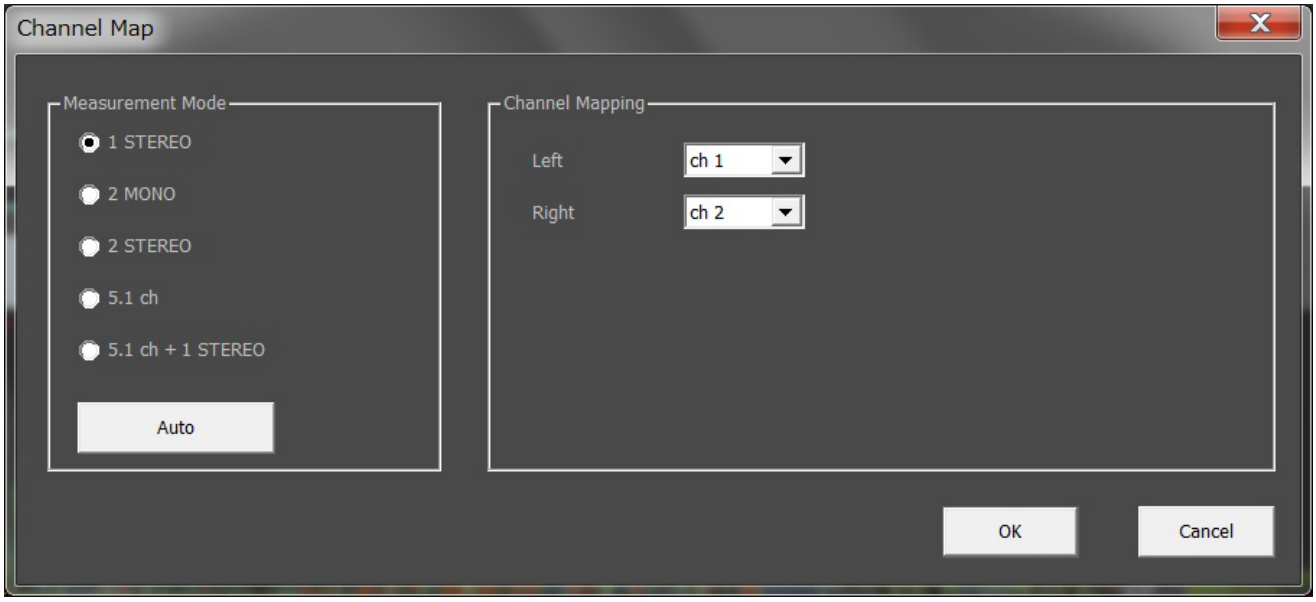
解析するラウドネスログ（CSV 形式）を開きます。

4.3.3. Output File メニュー

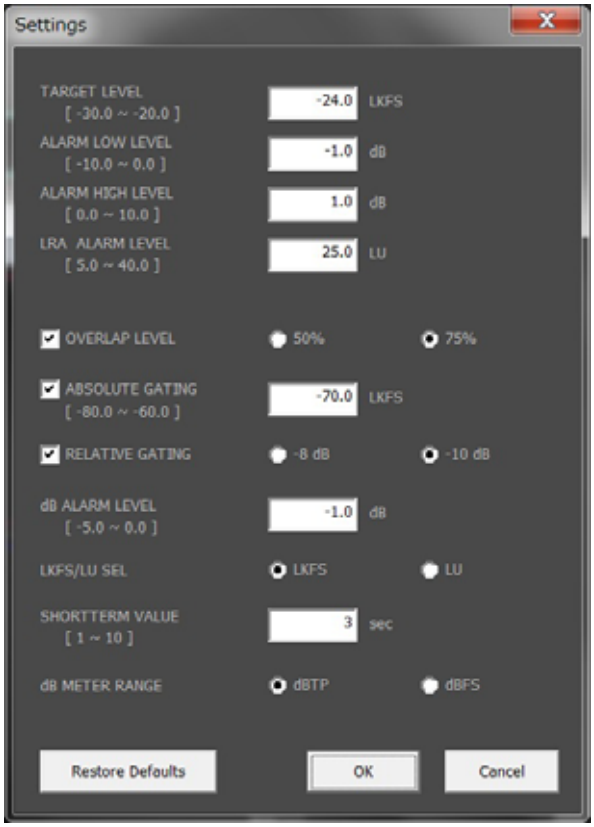
解析結果をテキストファイルに保存します。

4.3.4. Channel Map メニュー

チャンネルマップを再設定します。ASTRO Loudness エクスポーターから出力された時点でのチャンネルマップは、EDIUS 上で指定されたマッピングとなっています。



4.3.5. Setting メニュー



解析の設定を変更します。設定項目は以下の通りです。

設定項目	設定内容	初期値
MEASUREMENT MODE	入力信号形態によりラウドネスメータの音声モード種類を設定	-
TARGET LEVEL	ラウドネスのターゲットレベルを設定	-24.0[LKFS]
ALARM LOW LEVEL	ターゲットレベルからどの程度低ければアラーム表示するかを設定	-1.0[dB]
ALARM HIGH LEVEL	ターゲットレベルからどの程度高ければアラーム表示するかを設定	1.0[dB]
LRA ALARM LEVEL	ラウドネスレンジのアラームレベルを設定。設定した値よりも大きければアラーム表示	25.0[LU]
OVERLAP LEVEL	インテグレーテッドラウドネス計算のオーバーラップレベルを設定	75[%]
ABSOLUTE GATING	インテグレーテッドラウドネス計算の絶対ゲートレベルを設定	-70.0[LKFS]
RELATIVE GATING	インテグレーテッドラウドネス計算の相対ゲートレベルを設定	-10[dB]
dB ALARM LEVEL	トゥルーピーク/サンプルピークが設定した値より大きい場合はアラーム表示	-1.0[dB]
LKFS/LU SEL	ラウドネス表示の単位を変更	LKFS
SHORTTERM VALUE	ショートタームラウドネスの計測時間を設定	3[sec]
dB METER RANGE	dB メータのレンジを設定	dBTP

4.3.6. View メニュー

音声モードが以下の場合、Graph#1 と Graph#2 の表示形式を選択できます。

表示形式	表示方法
Graph#1	2MONO の場合：MONO1 のみを表示 2STEREO の場合：STEREO1 のみを表示 5.1ch+STEREO の場合：5.1ch のみを表示
Graph#2	2MONO の場合：MONO2 のみを表示 2STEREO の場合：STEREO2 のみを表示 5.1ch+STEREO の場合：STEREO のみを表示
Graph#1+Graph#2	両方表示

5 更新履歴

版	年月日	内容
第 1 版	2012/05/16	新規

ASTRO

SP-3800 取扱説明書

ご注意

●落丁本･乱丁本はお取替えいたします。

●この商品の著作権は、アストロデザイン社にあります。

●マニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは出来ません。

●本書の内容は改良のため予告なしに変更することがあります。

●誤った使用結果による影響については、その責を負いかねますのでご了承下さい。

●本製品に関するお問い合わせは、ご購入の販売店または、下記までお願い致します。

●本書に表記する商品または商品名は各社の商標または登録商標です。

D0362A

アストロデザイン株式会社
URL http://www.astrodesign.co.jp
営業部 TEL.03-5734-6301 FAX.03-5734-6104
〒145-0066 東京都大田区南雪谷1-5-2
大阪営業所 TEL.06-6328-8558 FAX.06-6328-5058
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-27-1010